



## 2024年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2024年8月9日

上場会社名 株式会社メディネット 上場取引所 東  
コード番号 2370 URL <https://www.medinet-inc.co.jp>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 久布白 兼直  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理部長 (氏名) 落合 雅三 TEL 03-6631-1201  
配当支払開始予定日 —  
決算補足説明資料作成の有無：無  
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年9月期第3四半期の業績（2023年10月1日～2024年6月30日）

#### (1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年9月期第3四半期	589	19.8	△996	—	△948	—	△951	—
2023年9月期第3四半期	491	4.7	△1,046	—	△1,043	—	△1,045	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年9月期第3四半期	△3.78	—
2023年9月期第3四半期	△4.90	—

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年9月期第3四半期	5,727	5,209	90.9
2023年9月期	5,634	5,043	89.2

(参考) 自己資本 2024年9月期第3四半期 5,204百万円 2023年9月期 5,023百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2024年9月期	—	0.00	—	—	—
2024年9月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2024年9月期の業績予想（2023年10月1日～2024年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	850	28.5	△1,488	—	△1,475	—	△1,479	—	△6.37

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年9月期3Q	256,490,306株	2023年9月期	232,160,757株
② 期末自己株式数	2024年9月期3Q	64株	2023年9月期	64株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年9月期3Q	251,522,598株	2023年9月期3Q	213,300,322株

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社において判断したものであります。予想には様々な不確定要素が内在しており、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合があります。なお、業績予想に関する事項は、【添付資料】P.3「1. 経営成績等の概況（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当四半期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当四半期の財政状態の概況 .....	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等 .....	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	5
第3四半期累計期間 .....	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6
(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	6
(セグメント情報等の注記) .....	7
(収益認識関係の注記) .....	7

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期累計期間（2023年10月1日から2024年6月30日まで）においては、雇用・所得環境が改善する中で、景気は足踏みもみられるものの、各種政策効果もあって、穏やかに回復基調となりました。一方、円安が続く為替の状況、不安定な海外情勢、国内物価の上昇等により、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

こうした状況の中、当社は引き続き、「再生医療等の安全性の確保等に関する法律」と「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律」による法的枠組みの下、新たなビジネス展開による事業拡大に向けた取り組みを進めるとともに収益構造の改善に注力しております。当社を取り巻く事業環境は依然として厳しさが続いておりますが特定細胞加工物の受託拡大やCDMO事業の基盤強化に注力しております。

この結果、当第3四半期累計期間における当社の経営成績は以下のとおりとなりました。

(金額単位：百万円)

	売上高	営業損失(△)	経常損失(△)	四半期純損失(△)	1株当たり 四半期純損失 (△)
当第3四半期 累計期間	589	△996	△948	△951	△3.78円
前第3四半期 累計期間	491	△1,046	△1,043	△1,045	△4.90円
増減率(%)	19.8	—	—	—	—

当第3四半期累計期間においては、前年同期と比べ特定細胞加工物製造業やCDMO事業の売上が増加したことにより、売上高は589百万円（前年同期比19.8%増）となりました。損益面につきましては、売上高の増加等により、売上総利益は106百万円（前年同期比52.4%増）、研究開発費の減少により販売費及び一般管理費は1,103百万円（前年同期比1.2%減）となり、営業損失は996百万円（前年同期は営業損失1,046百万円）となりました。また、加工中断収入7百万円（前年同期比11.6%減）、投資事業組合運用益34百万円（前年同期は投資事業組合運用損9百万円）等の営業外損益等により、経常損失は948百万円（前年同期は経常損失1,043百万円）、四半期純損失は951百万円（前年同期は四半期純損失1,045百万円）となりました。

報告セグメント別の経営成績の概況は、以下のとおりであります。

(金額単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期損益計算書 計上額(注) 2	
	細胞加工業		再生医療等製品事業			セグメント 損失(△)	売上高
	売上高	セグメント 損失(△)	売上高	セグメント 損失(△)			
当第3四半期 累計期間	589	△245	0	△316	△434	589	△996
前第3四半期 累計期間	491	△242	0	△358	△445	491	△1,046

(注) 1. セグメント損失(△)の調整額は、全社費用であります。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント損失(△)は、四半期損益計算書の営業損失と調整を行っています。

#### ① 細胞加工業

細胞加工業については、細胞加工業の3つのビジネス領域（「特定細胞加工物製造業」・「CDMO事業」・「バリューチェーン事業」）の拡大に向けて積極的な活動を展開しております。当第3四半期累計期間においては、「特定細胞加工物製造業」では、免疫細胞加工受託件数の回復及び一部取引先との価格改定、製造受託に向けた技術移転一時金等により、「CDMO事業」では製造受託料の価格改定等により、売上高が増加しております。その結果、売上高は589百万円（前年同期比19.9%増）となりましたが、細胞加工受託の拡大に向けた販売費等が増加したことにより、セグメント損失は245百万円（前年同期はセグメント損失242百万円）となりました。

#### ② 再生医療等製品事業

再生医療等製品事業については、再生医療等製品の早期の収益化を目指すとともに、国内外で行われている再生医療等製品の開発動向にも注目し、それらのパイプライン取得、拡充を視野に入れた活動を行っています。当第

3四半期累計期間においては、売上高は0百万円（前年同期比45.2%減）、研究開発費の減少等によりセグメント損失は316百万円（前年同期はセグメント損失358百万円）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況  
(財政状態)

	前事業年度末	当第3四半期 会計期間末	増減
資産合計（百万円）	5,634	5,727	92
負債合計（百万円）	590	517	△72
純資産合計（百万円）	5,043	5,209	165
自己資本比率（%）	89.2	90.9	1.7
1株当たり純資産（円）	21.64	20.29	△1.35

資産合計は、前事業年度末に比べて92百万円増加しました。主な増加は、現金及び預金194百万円、主な減少は、建物（純額）48百万円、投資有価証券29百万円、仕掛品15百万円です。

負債合計は、前事業年度末に比べて72百万円減少しました。主な増加は、株式報酬引当金18百万円、主な減少は、賞与引当金29百万円、流動負債その他の前受金57百万円です。

純資産合計は、新株予約権の行使等による資本金570百万円及び資本剰余金570百万円の増加、並びに四半期純損失計上に伴う利益剰余金951百万円の減少、新株予約権15百万円の減少等により、前事業年度末に比べて165百万円増加しました。

以上の結果、自己資本比率は、前事業年度末の89.2%から90.9%となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年9月期の業績予想につきましては、2023年11月10日に公表しました業績予想から変更はございません。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等

当社は、がん免疫療法市場の環境変化に伴う細胞加工業の売上急減後、回復が十分でないことに加え、再生医療等製品事業分野における自社製品の開発進捗に伴う支出が累増しているため、継続的に営業損失及びマイナスの営業キャッシュ・フローが発生しており、継続企業の前提に疑義を生じさせるリスクが存在しております。

しかしながら、当社は、2018年4月に実行した事業構造改革を通じ、細胞加工業セグメントにおいては、細胞加工施設の統廃合等を通じて製造体制の適正化を図り、同セグメントのセグメント利益の早期黒字回復を目指しております。また、再生医療等製品事業セグメントにおいては、早期の製造販売承認の取得に向けて有望でかつ可能性の高いシーズを優先して開発を進めるとともに、再生医療等製品の開発費等については資金状況を勘案の上、機動的に資金調達を実施してまいります。現状では、構造改革の実行を通じた細胞加工業セグメントにおける製造体制の適正化等による資金の確保、さらに2019年6月の第14回及び第15回、2020年7月の第16回、2020年9月の第17回、2021年9月の第18回並びに2023年3月の第19回新株予約権の発行による再生医療等製品開発費等の資金調達等により、安定的なキャッシュポジションを維持しており、当面の資金繰りに懸念はないものと判断しております。これらに加えて、当社における当第3四半期会計期間末の資金残高の状況を総合的に検討した結果、事業活動の継続性に疑念はなく、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないものと判断しております。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年9月30日)	当第3四半期会計期間 (2024年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,396,333	4,590,364
売掛金	217,624	225,781
仕掛品	33,741	18,626
原材料及び貯蔵品	33,740	31,650
その他	88,217	72,092
貸倒引当金	△828	—
流動資産合計	4,768,828	4,938,515
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	404,826	356,664
その他（純額）	73,575	83,189
有形固定資産合計	478,402	439,853
無形固定資産		
113,248	113,248	104,941
投資その他の資産		
投資有価証券	211,666	181,697
長期貸付金	531,250	527,500
その他	90,604	86,778
貸倒引当金	△559,855	△552,278
投資その他の資産合計	273,666	243,696
固定資産合計	865,316	788,491
資産合計	5,634,145	5,727,006
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	55,217	41,700
未払法人税等	18,323	15,936
賞与引当金	61,723	32,585
その他	211,574	168,426
流動負債合計	346,838	258,648
固定負債		
資産除去債務	158,146	159,652
株式報酬引当金	19,133	37,565
その他	66,085	61,391
固定負債合計	243,365	258,608
負債合計	590,203	517,257
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	5,736,788	6,307,085
資本剰余金	577,808	1,148,104
利益剰余金	△1,437,950	△2,389,368
自己株式	△4	△4
株主資本合計	4,876,641	5,065,816
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	147,029	138,876
評価・換算差額等合計	147,029	138,876
新株予約権	20,270	5,055
純資産合計	5,043,941	5,209,749
負債純資産合計	5,634,145	5,727,006

(2) 四半期損益計算書  
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年6月30日)	当第3四半期累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年6月30日)
売上高	491,922	589,485
売上原価	421,869	482,732
売上総利益	70,052	106,752
販売費及び一般管理費	1,116,418	1,103,204
営業損失(△)	△1,046,366	△996,451
営業外収益		
受取利息	5,168	4,984
為替差益	349	—
投資事業組合運用益	—	34,990
貸倒引当金戻入額	4,650	4,650
加工中断収入	8,755	7,739
その他	1,112	2,219
営業外収益合計	20,035	54,584
営業外費用		
支払利息	45	22
為替差損	—	12
投資事業組合運用損	9,979	—
株式交付費	1,501	6,753
社債発行費等	5,696	—
営業外費用合計	17,222	6,788
経常損失(△)	△1,043,553	△948,656
特別利益		
投資有価証券売却益	6,448	—
特別利益合計	6,448	—
特別損失		
固定資産除却損	4,829	—
特別損失合計	4,829	—
税引前四半期純損失(△)	△1,041,934	△948,656
法人税、住民税及び事業税	3,157	3,157
法人税等調整額	△39	△397
法人税等合計	3,118	2,760
四半期純損失(△)	△1,045,052	△951,417

## (3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2024年1月10日付で譲渡制限付株式報酬としての新株式発行を行いました。この結果、資本金及び資本剰余金がそれぞれ3,950千円増加しました。

また、当社が2023年3月6日に発行した第19回新株予約権について、新株予約権の権利行使が行われました。この結果、資本金及び資本剰余金がそれぞれ566,346千円増加しました。

以上の結果、当第3四半期会計期間末において資本金が6,307,085千円、資本剰余金が1,148,104千円となっております。

(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年6月30日)	当第3四半期累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年6月30日)
減価償却費	76,443千円	85,184千円



(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期累計期間(自 2022年10月1日 至 2023年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期損益 計算書計上額 (注) 2
	細胞加工業	再生医療等 製品事業	計		
売上高					
顧客との契約から生じる 収益	491,563	358	491,922	—	491,922
外部顧客への売上高	491,563	358	491,922	—	491,922
セグメント間の内部売上高又 は振替高	—	—	—	—	—
計	491,563	358	491,922	—	491,922
セグメント損失(△)	△242,092	△358,860	△600,953	△445,412	△1,046,366

(注) 1. セグメント損失(△)の調整額△445,412千円は、全社費用であります。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント損失(△)は、四半期損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第3四半期累計期間(自 2023年10月1日 至 2024年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期損益 計算書計上額 (注) 2
	細胞加工業	再生医療等 製品事業	計		
売上高					
顧客との契約から生じる 収益	589,288	196	589,485	—	589,485
外部顧客への売上高	589,288	196	589,485	—	589,485
セグメント間の内部売上高又 は振替高	—	—	—	—	—
計	589,288	196	589,485	—	589,485
セグメント損失(△)	△245,449	△316,159	△561,609	△434,842	△996,451

(注) 1. セグメント損失(△)の調整額△434,842千円は、全社費用であります。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント損失(△)は、四半期損益計算書の営業損失と調整を行っております。

(収益認識関係の注記)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「(3) 四半期財務諸表に関する注記事項(セグメント情報等の注記)」に記載のとおりであります。